

## 「5.5 創価学会後継者の日」

### 1 枚目／未来部の結成（5枚目の絵の裏に貼る）

未来部は、池田先生が創価学会第三代会長に就任後、最初に結成した組織です。

1964年（昭和39年）6月、未来部結成の第一歩として「高等部」が結成されました。

翌65年（同40年）1月、「中等部」が結成。同年9月に「少年部」が結成されました。

結成当時の想いを、池田先生は後にこう記しています。

「私は、21世紀のことを真剣に考えている。その時に、誰が広宣流布を、世界の平和を担っていくのか。誰が21世紀に、本当の学会精神を伝えていくのか。それは、今の未来部のメンバーに頼むしかない。」

### 2 枚目／師匠が“手づくり”で育成（1枚目の絵の裏に貼る）

高等部が結成されると、池田先生は夏期講習会や、毎月の御書講義、人材グループの結成など様々な提案を行い、自ら出席しました。

また時には、スポーツ大会、定時制高校に通うメンバーとの会食を通し、創価の後継者育成に全力を注いだのです。

池田先生からの激励を胸に、それぞれの使命の道を歩んだ当時のメンバーは今、経済界、教育界など、世界中の様々な分野で活躍しています。

### 3 枚目／創価学会後継者の日（2枚目の絵の裏に貼る）

1976年（同51年）5月5日、関西戸田記念講堂で行われた未来部の記念勤行会の席上、5月5日の「こどもの日」を「創価学会後継者の日」とすることが発表されました。

池田先生は、「後継」への思いをこう綴っています。

「私は毎年やってくるこの日を、いつも全力で迎える。創価学会にとって『後継者の日』は、5月3日の『創価学会の日』につづく重要な日である。一切の建設は『人』で決まる。『人』といっても、若い世代に託す以外にないからである」

#### 4枚目／青春対話・希望対話（3枚目の絵の裏に貼る）

「私も全力をあげます。本当のことを若い世代に語り残しておきたい。語り残しておきたい」との池田先生の思いから、1996年、『青春対話——21世紀の主役に語る』の連載が開始されました。単行本はこれまでに10以上の言語に翻訳され、世界中の未来部一人一人に勇気と希望を与えています。

また、2000年には『青春対話』の中等部版である『希望対話』もスタートし、大反響を呼びました。

池田先生は、青春対話の中で語っています。

「どんな悩みがあっても、それをバネにし、じっと我慢し、こらえて、『今に見ろ』と自分を励まして進むのです。行くべき自分の軌道を、黙々と、忍耐強く進んでいくのです。

君が『太陽』なのです。あなたが『太陽』なのです。まず、そう決めることです。

自分が太陽である限り、今どんな悩みがあろうとも、『朝』がこないわけがない。『快晴』の日はこないわけがない。『春』がこないわけがないのです」

#### 5枚目／未来部への指針・先生のご指導（4枚目の絵の裏に貼る）

池田先生は、ある時は本部幹部会の席上で、またある時は、海外からのお客様を歓迎する場面で、「真の親孝行を頼みます！」と未来部に直接声をかけ、一人一人を励まし続けているのです。

未来部のメンバーは、一人一人が「勝利のチャレンジ5項目」

一、勉学第一（勉学・語学に挑戦しよう！）

一、健康第一（健康と充実の日々を送っていこう！）

一、親孝行第一（親孝行を忘れない、感謝の人に成長しよう！）

一、友情第一（良き友情の輪をひろげよう！）

一、読書第一（世界の名著に挑戦し、豊かな心を育もう！）

の実践に挑戦していきましょう。

また、四者一体となって、学会の宝である未来部の育成に全力で励み、師匠・池田先生にお応えして参りましょう。

#### 決意など